

日風園

〈高知県立歴史民俗資料館だより・おこうふうじつ〉

第74号 2011年2月1日

開館20周年に寄せて

高知県立歴史民俗資料館長 宅間一之

長い歴史を生き抜いてきた私たちの財産である文化財を集め、守り、調査・研究をしたうえで展示公開し、楽しんでもらって20年がたちました。この間皆様方から寄せられました暖かいご支援とご協力に心から感謝し、厚く御礼申し上げます。

20年の歳月の流れは、人々の博物館に対する考え方を変化させ、当館に寄せられる要望も高度化し、多様、多岐にわたるようになりました。加えて近年の戦国武将ブームによる若い人達の長宗我部氏に寄せる関心は高まり、変化の少ない総合展示や長宗我部氏関連資料の展示についてのご意見や苦情も増してきていました。こうした時期、昨年4月に常設展示のリニューアルが実現しました。そのよろこびの中で8月、NHK大河ドラマ「龍馬伝」の特別展を開催することができました。同展では、本物の資料の魅力が、多くの人々の目を歴史に向けさせ、開館以来最高の入館者数を数え、当館の認知度も高まり大成功をおさめました。20年という節目にこの感激は大きなものがありました。

当館の建っている岡豊城跡も平成20年7月に国指定の史跡となりました。今後は城跡の保存管理と活用策を確立する

中心的な施設としての役割を果たすと同時に、長宗我部氏の居城に建つのにふさわしい資料館にならねばなりません。土佐の戦国、わけても長宗我部氏に関する資料の意欲的な収集と研究の深化、そして関連展示の充実が必要です。その意味も含み、今回のリニューアルの目玉として、長宗我部展示室を新設し、展示資料が貧弱と言う指摘からの脱却を実現しました。秦氏の土佐来国から土佐の有力士豪への成長。土佐の統一、四国制覇を目指し、天下をねらえる傑將にまで成長したものの、信長・秀吉という天下人に翻弄され挫折をたどる長宗我部元親の軌跡を、生の資料で忠実に伝えていきます。また体験の場として中富川の戦いの本陣を、実物大で復元し、迫力あるものに仕上げました。

総合展示室は、歴史民俗資料館という性格上、考古学、歴史学、民俗学の三学協業の研究成果を通じ、高知県の歴史が理解できる展示でなければなりません。時代を追う展示は、ともすると平板で変化のない展示になりがちですが、展示される資料はもちろん、展示場の変化も楽しんでもらえる機能を備えたものにしませんでした。模型等による固定された展示はできるだけ避け、学芸員の選定するテーマ

や企画する内容に応じて、変化することが可能な展示場を整え、いつ来ても同じ展示という印象の払拭に務めました。当然のことながら学芸員の力量が常に問われ続けられる結果となりますが、学芸員も日頃の研究成果が遺憾なく発揮でき、大いに活用できる場ができました。

財政的にも人的にも厳しい状況の中でのリニューアルでした。意図したことが完全に果たせたわけではありません。これからも徐々に整備しながらより充実させていきたいと思っております。20周年という節目とリニューアルを、新たなサービスの創出と、新しい活路を見いだしていくチャンスにもしたいと考えています。

今、地域に生きる博物館のあり方が論議されています。博物館は、生涯学習機関としてまた文化施設として、地域住民の方々や利用者と連携を密にし、さらに生涯学習やまちづくりの中核施設としての存在理由を社会的に明らかにしていく重要性も近年指摘されています。急激な時代の流れや社会の変化、厳しい経営環境の中で、地域との連携による多岐にわたる活動の充実を図っていくことがきわめて重要な時と考えます。そのことを念頭に精一杯の努力を続けていきたいと思えます。

20年間培ってきた多くの実績を礎に、愛される資料館をめざし一層の充実をはからなければなりません。ご指導とご協力を切にお願いいたします。



開館20周年 土佐勤王党結成150年記念特別企画

勤王党志士たちの遺墨・遺品展

野本 亮



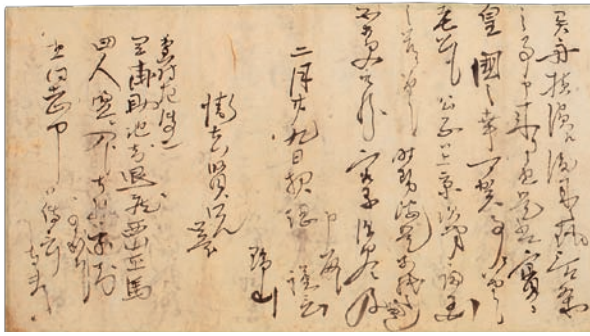
大河ドラマ『龍馬伝』第一部では、武市半平太を盟主とする土佐勤王党の志士たちがエネルギーギッシュに描かれました。

しかし、その一方で、過剰なまでの下士に対する上士の差別意識や、幕末四賢候といわれた山内容堂と、藩政改革の立役者・吉田東洋の描かれ方には閉口された方も多かったのではないのでしょうか。

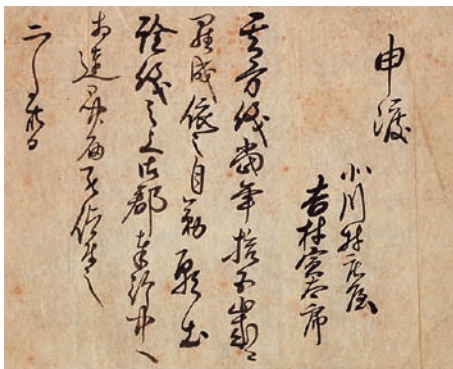
また、ドラマを通じてこれまであまり知られていなかった勤王党の志士たちが取り上げられたのは良しとして、等身大の彼らの人間性や思想については注意深く検証する必要があるようです。

今回の展示会では、この20年間に当館に収蔵された、「平井・西山家資料」「島村家資料」「高知県文教協会資料」など、未公開の一次資料を中心に構成します。

土佐勤王党四天王



武市半平太書状（文久三年）二月二十九日付 島村衛吉宛（部分） 南州市蔵
容堂に勤王党の考えを直接説明したことを記したもの。半平太はすでに死を覚悟していた。



申渡（嘉永四年）二月三十日付 吉村虎太郎宛（初公開） 高知県文教協会蔵
15歳になった虎太郎の「自動願」に対する通達文書。

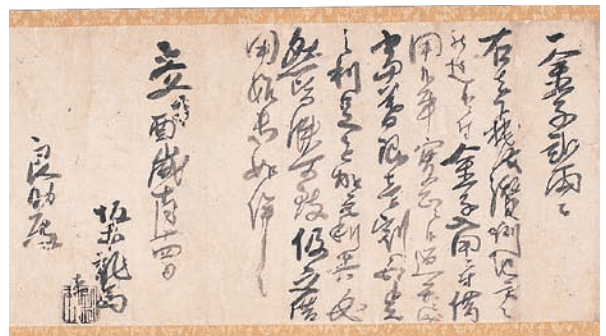


拳銃 SMITH & WESSON（初公開）
セカンドモデル 前田年雄氏寄贈
龍馬の他、高杉晋作も所持していたという。

土佐勤王党は文久元年（1861）、今からちょうど150年前、武市半平太を盟主として結成されました。その数実に192名。郷土層や庄屋を中核とし、攘夷実行をめぐる激しく参政・吉田東洋らと対立しました。

よく勤王党四天王といわれますが、吉村虎太郎・坂本龍馬・中岡慎太郎の3名は、方向性の違いなどから、脱藩して行動を別にした志士たちです。

今回はまず、彼らの書状や遺品をこれまでになく贅沢に展示します。また、虎太郎の庄屋時代の活動を示す文書や、



坂本龍馬借用証文 文久（元年）十月十四日付 田中良助宛 田中正郎氏蔵
丸亀出向に際して、龍馬が田中良助から金2両を借用したときの証文。

土佐勤王党の参謀たち

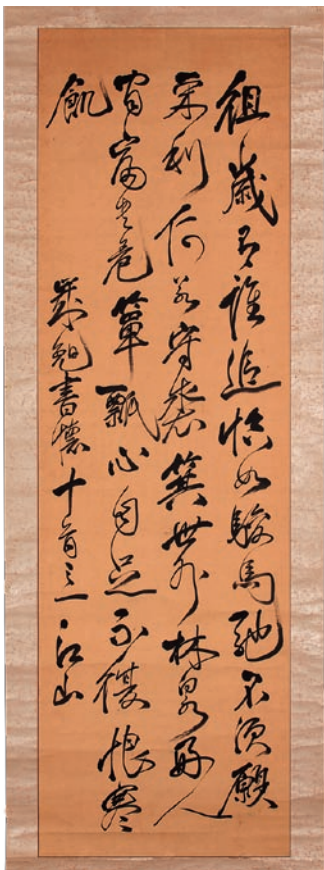
坂本龍馬らが所持していた拳銃（スミス&ウェッソン）と同型式のものも初公開しますのでお見逃し無く。

私たちはつい、虎太郎や龍馬、慎太郎といったビッグネームの志士に注目しがちですが、実質的な勤王党の活動を支えていたのは、半平太の側近にして参謀格だった、大石弥太郎（圓）・間崎哲馬（滄浪）・平井収二郎たちでした。

哲馬は城下種崎町の出身。父は幡多郡間崎村の郷士で医師。7歳で漢詩を作ったほどの秀才で、16歳の時には江戸で安積良斎の門に入り、帰国後は城下江ノ口村で塾を開きました。中岡慎

太郎や吉村虎太郎も指導を受けています。半平太とも意気投合。勤王党の参謀格となったのです。今回は、彼が得意とした漢詩の他、藩庁から切腹を通達された時の文書一式と遺書、身に付けていた袴などの遺品を展示します。

勤王党に加盟するや頭角をあらわし、山内豊範に従って上京すると、半平太とともに他藩応援役を拝命しました。しかし、行き過ぎた行動を山内容堂に咎められ、弘瀬健太・間崎哲馬とともに切腹させられました。今回は、収二郎が父や妹・加尾に送った書状の他、短冊などの遺品も展示します。



北添信磨詩書「祖歳即誰追」高知県文教協会蔵
末尾に「歳晚書懐十首之一」とある。「江山」は号で能書家だった。



間崎哲馬「竹芭蕉図」高知県立文学館蔵
真っ直ぐに伸びた竹の図と、「滄浪酔って題す」という署名部に人間味を感じさせる作品。

上方で活動した党員たち

間崎らが帰藩して切腹したのに対し、帰藩せず国事に奔走した党員に望月亀弥太と北添信磨がいます。

亀弥太は、血盟書には名がありませんが同志とみられています。神戸の海軍塾に入って航海術等を学んでいましたが、抜け出して京の池田屋で討幕の密談中、新撰組に襲われ重傷を負い、後に自刃しました。生前国許の母に送った手紙が現存していますのでそのうちの幾つかを展示し、家族を想う志士の苦悩を垣間見ます。

亀弥太と同様、池田屋事件で命を落としたのが、岩目地村の庄屋の家に生まれた北添信磨です。京を拠点に活動



北添信磨「画趣」(部分)〈初公開〉高知県文教協会蔵
安政6年頃、信磨が認めた漢詩と戯画の折本。大変珍しい作品。

しますが、北海道の視察後は、移住開拓の志を持ったといえます。初公開の遺墨と遺品から、龍馬にも影響を与えたという人物に思いを馳せてみてください。

その他党員たち

島村衛吉は香美郡下島村出身。半平太の妻・富の親戚で、一刀流の達人。勤王党結成時の加盟者で、半平太が最も信頼していた同志の一人です。激しい拷問を受けて絶命するまでに遺した遺筆を中心に展示します。



短刀拵 田内衛吉所用

他にも川原塚茂太郎、弘瀬健太、田内衛吉、望月清平、村田右馬太郎などの遺品も展示します。

今回は、土佐勤王党結成150年記念特別企画と銘打って、こうちミュージアムネットワーク加盟館の、高知県立坂本龍馬記念館(幡多・高岡方面)、北川村立中岡慎太郎館(香美・安芸方面)、佐川町立青山文庫(佐川方面)、高知市立龍馬の生まれたまち記念館(高知市内)が、それぞれの担当地域出身の勤王党志士を掘り起こします。これまであまり知られていない志士の資料がどれだけ見つかるかご期待ください。



おばやんの知恵袋
2003年1月17日～5月25日



歴史と美術
2002年10月4日～12月1日



金太郎さんと土佐のおもちや
2002年4月26日～6月30日

1991年に歴史館が開館してから今年で20周年！2002年度から10年間の歩みを主な企画展や特別展のポスター・チラシでたどります。(1991年度から2001年度までのポスターは開館10周年記念誌に掲載しています)

企画展ポスター・チラシでふりかえる
歴史2002～2011年の歩み



土佐国分寺
2004年10月1日～11月7日



石の仏
2004年3月5日～5月23日



あの世・妖怪・陰陽師
2003年7月19日～8月31日



描かれた土佐の浦々
2005年11月26日～2006年2月26日



鬼
2005年7月30日～10月10日



土佐を掘る2
2005年3月4日～5月15日



発掘された日本列島2004
2004年12月4日～2005年1月10日



伊能大図 in くろしおアリーナ
2007年3月1日～4日



長宗我部盛親
2006年10月7日～11月26日



土佐の歴史玉手箱
2006年7月22日～9月24日



いのちの河・くらしの川
2006年4月29日～6月11日



なつかしのおもちゃ
2008年1月2日～3月9日



土佐発掘物語
2007年10月6日～11月25日



坂本龍馬・中岡慎太郎展
2007年7月28日～8月28日



竹 バンブー・スタイル
2007年4月21日～6月10日



昔のくらし博物館
2008年12月19日～2009年3月1日



絵葉書のなかの土佐
2008年9月26日～11月24日



土佐発掘物語II
2008年7月18日～8月31日



鯉
2008年4月12日～6月8日



リニューアルオープン
2010年4月10日



発掘された日本列島2009
2009年10月3日～11月9日



復元! かぐりの世界
2009年8月1日～31日



兜
2009年4月24日～6月21日



昔のおもちゃ博物館
2011年1月2日～3月6日



幕末維新土佐庶民生活誌
2010年10月8日～11月23日



龍馬伝
2010年7月31日～8月31日



武市半平太の手紙
2010年4月24日～6月20日

考古

岡豊山の遺跡

⑥岡豊山古墳の発見

松野尾章行まつののおきつら（天保7年～1836）～明治35年（1902）は、土佐藩士で維新後、高知県庁に勤め、明治11年から同34年にかけて、かの著名な『皆山集』116巻116冊を編纂しました。『皆山集』は、当時の県庁の廃棄書類裏面を用いたもので、土佐の歴史家は章行の門をたたき閲覧しましたが、門外不出とされてきました。戦後、高知県立図書館に移りました。この書の第66巻に以下のような記事がみえています。

「古代ノ老舛舛ニ珠ノ如キ烙印アルモノヲ見当リタリ古色実ニ可愛物ナリ右環点ヲ加ヘシ烙印ハ珠ノ字ノ如シ其字ニ依リ施行ノ年度ハ分リマセヌカ御尋ネ申上候昨日領石ノ古物ヲ一覽仕候処別ニ驚クヘキモノモ無之其内豊岡城跡ノ土中ニ得タル鬼瓦日本古代ノ馬ノアブミ異形ノ神代釵各所塚中ヨリ得タル古代ノ陶器全タタキノ僅カニ一箇アリ等就愛翫ニ叶ヒタリ其他ハ謂フニ足ラサル品多シ 俗ニ謂イトシリナシ故ニ安置スルモノトハ思ハレス曲玉壺ノ如キモノ歟土焼ニシテ青色ナリ其質石ノ如シ 章行云珠ノ烙印図ハ鍔鏢録一ノ巻ニ出ス併ミルベシ（『高知県史考古資料編』昭和48年3月よる）」。

先の記事には領石周辺の古墳や岡豊城跡から出土したと思われる遺物についての記述がみられます。特に岡豊城跡から鬼瓦が出土したという記述は、興味深いものがあります。発掘調査では、未だ鬼瓦は確認されてはいませんが、明治期の城跡の状況が想像できるものです。

（岡本）

歴史

新資料との出会い

資料館には様々な理由で資料が持ち込まれます。「うちの家系図を読んでほしい」「売りたいので鑑定して価格を決めて」といったものまで枚挙に暇がありません。

昨年末、「もし良かったらもらってください」とおっしゃるご婦人が、たくさんの掛軸を持ってご来館されました。その中に「伊達政宗公御消息」と、箱書きされた軸が一本含まれていました。戦国の英雄として、拔群に人気の高い武将の書状ですから、当然偽物も多いことは言うまでもありません。東日本で見つかることはあっても、「この高知でまさか！」というのが第一印象でした。しかし、念のため、伊達家文書の研究機関としても名高い仙台市博物館の学芸員さんに写真でご所見をうかがってみました。すると、「伊達政宗の自筆文書で新発見です」とのご回答をいただき、びっくり仰天しました。



伊達政宗書状 本多正純宛 無年号（慶長十九年）霜月十日付



伊達政宗花押

※当館では鑑定はしておりません。

時期は大坂の陣の頃に比定できるとのこと。やはり資料というものは、長い研究蓄積のある専門機関があつてこそ生かされるのだと痛感いたしました。（野本）

民俗

三原村・高知女子大と提携して民具調査

平成22年12月4日、三原村・高知女子大学文化学部と当館の3者の連携事業の調印式が三原村で行なわれました。この事業は、



調印式

三原村が所蔵する民具の調査整理を、当館と女子大の橋尾直和教授とそのゼミ生が協力して行なうものです。学生たちが民具のカードを1点ごとに作成し、地元の方に名前や使い方を書いていきます。当館も平成21年度から協力していましたが、今年度は3者連携の形をとることになりました。



ヒニノ（日簀）の作り方を学ぶ女子大生（H22.11.20）

調印式には、杉本村長、清原文化学部長、宅間館長が臨み、式のと、今後村で計画されている民具の展示施設のことなどについて話し合いました。

三原村の民具調査は今年度で終わりますが、この事例をモデルに、県内の民具の調査を進めていきたいと思えます。

（梅野）

秋篠宮同妃両殿下お成り

昨年11月20日に秋篠宮同妃両殿下が、全国生涯学習フォーラム高知大会開会式のために高知県へお成りになり、お忙しいご予定の中、当館をご視察になられました。



館内では宅間館長の解説案内により、高知県の歴史を通史で展示する3階総合展示室をご覧になりました。考古学にも御造詣の深い秋篠宮殿下は国宝・金銅荘環頭大刀（複製）や鯨尾矛、中世の集落を復元した田村中世環溝屋敷群模型の前では、熱心にご質問をなさり、ご感想を述べられていました。また坂本龍馬湿板写真のケースの前では熱心にご覧になられておりました。

御視察を終えられ、多くの方のお見送りを受けられながら、当館をご出発されました。（猪野）

第15回 資料保存地域研修会、歴民で開催される



資料保存地域研修会

平成22年12月13日に東京文化財研究所・高知県教育委員会の主催で、資料保存地域研修会が当館の多目的ホールで開催されました。70名以上が参加され、熱心に講義に聴き入りました。講師は、文化庁美術学芸課朝賀浩先生・文化財虫害研究所理事長三浦定俊先生、東京文化財研究所保存科学研究室長佐野千絵先生等が担当、「展覧会に伴う借用品の管理について」、「文化財の保存環境と生物被害の防止法研究の現在」、「新しい生物被害防除法―IPMの考え方と実際」などについて講義しました。資料の保存・管理は、十分な知識と経験をもった学芸員が常に研修を積みながら行なうことを実感するとともに、このような研修が毎年実施できればと思います。（岡本）

れきみんニュース

山崎茂さんに感謝状が贈呈されました！



平成23年1月13日 県庁知事室にて

山崎茂さんは、昨年12月、長年にわたって収集された郷土玩具を当館にご寄贈くださいました。全国各地の土人形や張り子が網羅的に収集された約1万2千点の貴重なコレクションです。そのご厚志に感謝し、このたび尾崎知事から感謝状が贈呈されました。その後、山崎さんが郷土玩具の魅力や収集方法を語られるなど和やかに歓談が行なわれました。ご寄贈いただいた郷土玩具は現在開催中の企画展「昔のおもちゃ博物館」でご紹介しています。（中村）

春の催事案内

昨年開催し好評をいただきました「岡豊山さくらまつり」を今年も開催します。4月2日（土）・3日（日）です。お楽しみに！

また、長宗我部ファンの集いである「長宗我部フェス」も昨年よりパワーアップして開催しますので、こちらもぜひおいで下さい。5月21日（土）は当館で、22日（日）は若宮八幡宮で行なわれます。今年も長宗我部復興の年として、色々なイベントを企画しています。（猪野）



昨年の第1回長宗我部フェスのポスター



昨年のさくらまつりの様子

前田博史写真展 「心海」

平成23年3月19日(土)～4月3日(日)
1階企画展示室にて開催



バックナンバーのお知らせ

好評発売中

企画展「幕末維新土佐庶民生活誌」 パンフレット

A4判横長 32頁 売価500円

オールカラーで、江戸時代後期から明治時代前期にかけての土佐の庶民を描いた絵画資料を集成。

「土佐勤王党盟主－武市半平太の手紙－拝啓おとみ殿」

A4版 19頁 売価200円

土佐勤王党盟主・武市半平太の手紙から飾りのない素顔の人間像が浮かび上がります。

郵便振替口座番号 01600-2-38806
加入者名 高知県立歴史民俗資料館

● 2月25日(金)～3月4日(金)

3階総合展示は中世までしかご見学できません。

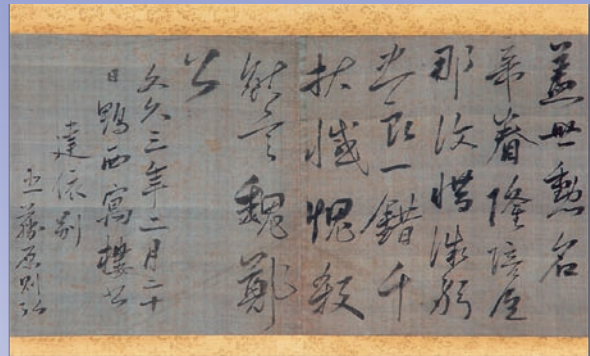
岡豊風日(おこうふうじつ) 第74号
平成23年2月1日
編集・発行 高知県立歴史民俗資料館
〒783-0044 南国市岡豊町八幡1099-1
TEL 08888622211
FAX 08888622110
開館時間 午前9時～午後5時
休館日 年末年始(12月27日～1月1日)、
臨時休館あり
観覧料 通常期(常設展)大人(18才以上) 450円・団体(20人以上) 360円
400円・団体(20人以上) 300円
〔企画展〕常設展示込み500円
・団体(20人以上) 400円
※特別展は別に定めます
無料・高校生以下、高知県及び高知市長
寿手帳所持者、療育手帳・身体障
害者手帳・障害者手帳・戦傷病者
手帳・被爆者健康手帳所持者とその
介護者(一名)
印刷 共和印刷株式会社

http://www.kochi-bunkazaidan.or.jp/~rekimin/
eメール: rekimin@kochi-bunkazaidan.or.jp

平成23年3月～7月の催し

開館20周年 土佐勤王党結成150年記念特別企画
勤王党志士たちの遺墨・遺品展

2011年3月5日(土)～6月26日(日)



間崎哲馬詩書「蓋世勲名」 高知県文教協会蔵

講演会

要予約 観覧料要
先着150名

5月14日(土) 14:00～16:00

「土佐勤王党－尊王から勤王へ－」

霊山歴史館学芸課長 木村幸比古先生

展示室トーク

担当学芸員

申込不要 観覧料要

4月2日(土) 14:00～15:00

5月3日(祝・火) 14:00～15:00

バスツアー

担当学芸員

要申込 定員42名
申込多数の場合、
抽選になります。

5月28日(土)

「勤王党志士(東部地区)の生家(跡)訪問」

当館の企画展を見学したのち、香南市・安芸郡内の志士の生家(跡)を訪ねます。

春のイベント

岡豊山さくらまつり 4月2日(土)／3日(日)

第2回長宗我部フェス 5月21日(土)

岡豊城望櫓をあげる! 3月5日(土)～

歴民の日 5月3日(祝・火) 入館無料

歴史民俗資料館は今年5月3日で開館20年目を迎えます。これを記念して「歴民クイズの陣」(参加賞も有り)他、ワクワクワークなどさまざまな催しを開催します。皆様お揃いでぜひご来館ください。

夏の特別展

この夏開館20周年を記念して、大人や子ども達に贈る特別展「おもちゃと模型のワンダーランド展」を予定しています。玩具メーカーバンダイさんのコレクションの一部、約200点を公開します。



チャンピオンレーサー